

「千代田学」に関する区内大学等の事業提案制度 事業実績報告書

千代田区に埋もれた戦後のアメリカ生活を発掘する
パレスハイツ、ジェファーソンハイツ、リンカーンセンターを事例にして

骨子

1. 本事業の目的
2. 本事業の対象
3. 本事業の実施内容
4. 第13回知の上南戦参加記
5. 学生による英語のプレゼンテーションスライド
6. 既存の研究枠組みの整理
7. 既存の研究（最新文献一覧）

千代田区に埋もれた戦後のアメリカ生活を発掘する：パレスハイツ、ジェファ
ソンハイツ、リンカーンセンターを事例にして

上智大学外国語学部 教授 小塩和人

1. 本事業の目的

本事業がもつ第一の目的は、千代田区に位置する上智大学で北米研究を専攻する学生たちが、地元にも目を向けく忘れ去られた日米関係について「過去を発掘する」経験をすることで、自らが通う大学と地域をより身近なものとして捉え直す契機をつくることである。さらに第二の目的として、大学生が発掘した歴史を地域の人々に披瀝することで、大学と地域との結びつきを深める契機をつくることである。

2. 本事業の対象

学生が発掘するのは、いまから 75 年前に建てられた住宅地区である。第二次大戦後の千代田区には、隼町に「パレスハイツ」(図1)永田町に「ジェファソンハイツ」(図2)霞ヶ関に「リンカーンセンター」と(図3)呼ばれる住宅地区があった。しかし、今では跡形もなく、人々の記憶からも消え去って久しい。それもそのはずで、現在はそれぞれ国立劇場、衆議院議長と参議院議長の公邸、国土交通省第3合同庁舎)が建っており、戦後日本を占領した在日米軍が接收して、二百数十に及ぶ宿舎群を建設したことは、忘却の彼方に霞んでいる。

3. 本事業の実施内容

戦後日本を占領した在日米軍の軍人軍属およびその家族が居住する目的で建築された「米軍住宅」は、我が国では「米軍ハウス」、「外人住宅」などとも呼ぶが、アメリカ合衆国では Dependent(s) House すなわち「扶養家族住宅」と呼んでいる。こうした生活空間に接した戦後日本人は、圧倒的なアメリカ生活文化に影響を受け、高度経済成長へと疾走していくのである。その実像を文献・映像資料から歴史的に再構成していく作業を行ない、2021 年 10 月 30 日に南

山大学で行われた研究交流会で発表し、翌年3～5月まで上智大学図書館・6号館で歴史展示を行っている。

図1 パレスハイツ



<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10756455/14>

図2 ジェファーソンハイツ



United States. Armed Forces Pacific. Office of the Chief Engineer, Dependents Housing: Japan & Korea (Tokyo: Gijutsu Shiryo Kankokai, 1948), p.22.

図3 リンカーンセンター



[https://uofmd.maps.arcgis.com/apps/MapJournal/index.html?appid=6eb9077e3025434d](https://uofmd.maps.arcgis.com/apps/MapJournal/index.html?appid=6eb9077e3025434dab81b0eadbf4ca29)

ab81b0eadbf4ca29

4. 第 13 回知の上南戦参加記

南山大学外国語学部英米学科 Facebook

<https://www.facebook.com/NanzanEibei/>

2021 年 11 月 18 日

2021 年 10 月 30 日、上智大学外国語学部英語学科の小塩ゼミと、南山大学外国語学部英米学科の平松ゼミ、上村ゼミ、森山ゼミが第 13 回知の上南戦に参加しました。本来は対面での開催ですが、新型コロナウイルスの影響により昨年に引き続きオンラインでの開催となりました。今回のイベントへの参加を通して卒業論文のテーマ決めや研究の深め方などの卒業論文作成の指針を学ぶことができ、これから卒業論文に取り組み始める身としてとても貴重な体験となりました。

第 13 回知の上南戦は各ゼミの紹介に始まり、その後小塩ゼミと平松ゼミのゼミ生の方々による発表と質疑応答、先生方のフィードバック、最後に親睦会の実施という流れで進められました。

最初は上智大学小塩ゼミの皆さんがゼミ全体での研究について発表してくださいました。

まず小塩先生がゼミの研究プロジェクトである「千代田学」の背景についてビデオを用いて説明してくださり、その後ゼミ生の皆さんの発表に移りました。第二次世界大戦後の日本に米軍ハウスが設置された背景について説明してくださいました。その後、千代田区

に存在した3か所の米軍ハウス(ジェファーソン・ハイツ、リンカーン・センター、パレス・ハイツ)について順に発表してくださいました。

千代田区に米軍ハウスが3か所もあったことや各ハウスの場所・住宅の特徴、階級によってハウスが区別されていたことなど、米軍ハウスについて新しく学ぶものがたくさんあったのでとても驚きました。千代田区と区内の大学とが連携して事業に取り組む「千代田学」プロジェクトの一環として、当時の日本と米軍との間で起こっていた米軍ハウスの土地を巡る論争や、戦後日本人がアメリカの生活文化から多大な影響を受けていたことなどの忘れ去られた日米関係を、今は無き米軍ハウスに着目して発掘するという視点が大変興味深いものでした。

5. 学生による英語のプレゼンテーションスライド

Chiyoda Project

Dependents Housing in
Chiyoda Ward after WWII

上智大学（小塩ゼミ）

Outline

- 1.How Dependents Housing began in Japan
 - 2.Jefferson Heights
 - 3.Lincoln Center
 - 4.Palace Heights
-

1. How Dependents Housing began in Japan

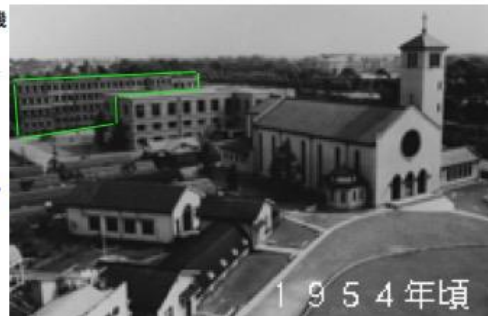
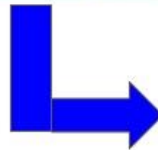


Current Sophia University





1945年4月13日から14日の未明にかけてアメリカ軍のB29戦略爆撃機によって焼け野原となった上智大学周辺。後方に1号館が見える。



Classes began in October 25th, 1945
 ↓
 Students had to abandon their studies due to food shortage and did not have a place to stay
 ↓
 Priest Franz Bosch decided to build a dormitory
 ↓
 Build the first Dormitory in Kichijouji but the location was too far from the University



学生に慕われた
 フランツ・ボッシュSJ



1948年に竣工したカマボコハウス（通称
ボッシュ・タウン）

Bought 12 quonset (かまぼこ
ハウス) from the US Army and
built it on campus



Teachers and students used
the dormitories



Used until 1957

Chronology

- 1945.8.15 Japan surrendered to the Allies by accepting the Potsdam Declaration
- 1945.8.28 Arrival of 150 US personnel in Atsugi, Kanagawa
- 1946.3.16 **SCAPIN-823: Housing Program for Occupation Forces and Their Dependents, request for 20,000**
- 1946.5.18 SCAPIN-967, reduction to 10,000
- 1947.4.26 SCAPIN-1637, request for 6,100
- 1949.6.27 SCAPIN-2023, rescind the order
- 1952.4.28 Occupation ended with the Treaty of San Francisco (signed 1951.9.8)

調達庁「調達制度確立への移行期」『占領軍調達史 占領軍調達の基調』（1956）

SCAPIN-823, 1946

Sapporo	1,200 (6.0%)
Aomori	220 (1.1%)
Sendai	400 (2.0%)
Niigata	220 (1.1%)
Utsunomiya	180 (0.9%)
Kumagaya	180 (0.9%)
Tokyo	2,500 (12.5%)
Yokohama	1,200 (6.0%)
Gifu	200 (1.0%)
Ohtsu	180 (0.9%)
Kyoto	220 (1.1%)
Osaka	1,600 (8.0%)
Himeji	200 (1.0%)
Okayama	1,340 (6.7%)
Tamajima	200 (1.0%)
Kure	3,400 (17.0%)
Fukuoka	700 (3.5%)
Ohita	200 (1.0%)
Sasebo	1,460 (7.3%)
Kumamoto	200 (1.0%)
Korea	4,000 (20.0%)
total	20,000 (100%)

The Number of Dependents Housing

corps	number of houses	construction time
Eighth Army	6,163	1946.4 - 1949.5
GHQ/SCAP	3,559	1946.4 - 1949.6
Air Force	2,852	1946.4 - 1949.6
Navy	280	1946.5 - 1947.6
Korea	1,582	1946.5 - 1948.2
BCOF	692	1946.5 - 1949.4

占領軍調達史編さん委員会『占領軍調達史 占領軍調達の基調』調達庁、1956, pp.487-488.

GHQ/SCAP = General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers

BCOF = British Commonwealth Occupation Force

Estimated Number of Military Family

Hokkaido	21
Kita Nihon	1,122
Tokyo	5,199
Yokohama	2,830
Nagoya	439
Chuo Nihon	167
Kyoto	517
Osaka	574
Kobe	366
Hiroshima	639
Minami Nihon	91
Kyushu	1,396
total	13,561

小泉和子ほか『占領軍住宅の記録（上）』住まいの図書館出版局（1999）38頁

Dependents Housing in Tokyo, 1950

Rehab	houses	602
	apartments	594
New	Grant Heights	1,261
	Washington Heights	827
	Tachikawa	410
	Yokota	405
	Jefferson Heights	70
	Lincoln Center	50
Quonset	Palace Heights	156

小泉和子ほか『占領軍住宅の記録（上）』住まいの図書館出版局（1999）38頁

What is Grant Heights?

- The Grant Heights was built in 1948 after WWII
- Started constructing by using the land of Narimasu Airfield (成増飛行場跡)
- A family dormitory for the American Air Force
- Existed from 1948 to 1973



Total site
area : 1.81
km²

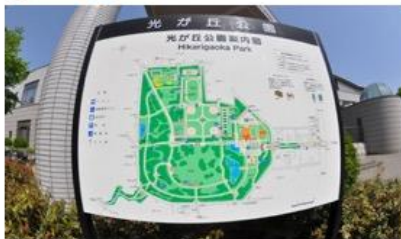
What was Grant Heights like?



Continue



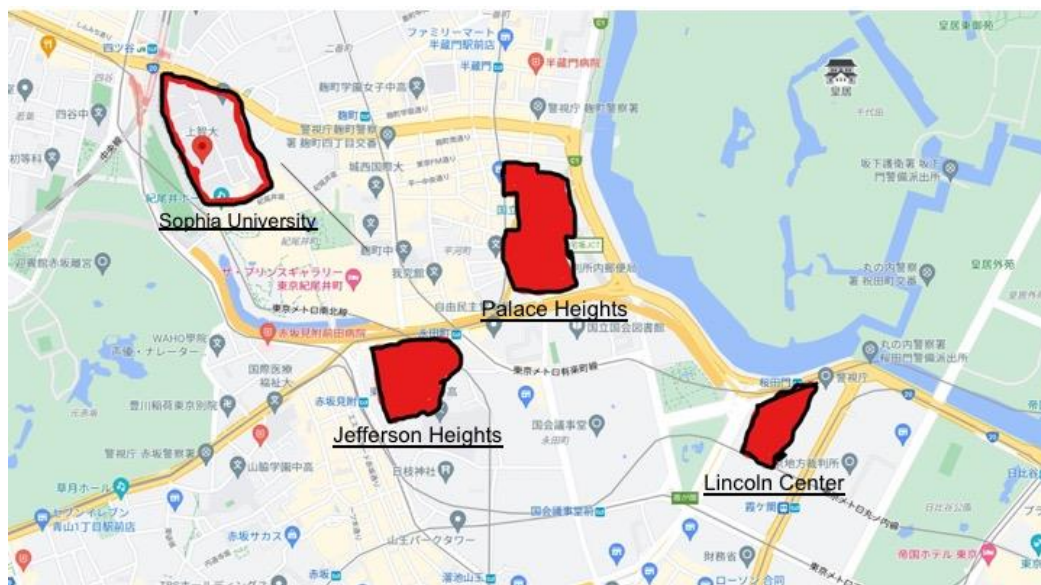
Higarigaoka Park

[illegible]

Dependents Housing in Tokyo, 1950

Rehab	houses	602
	apartments	594
New	Grant Heights	1,262
	Washington Heights	827
	Tachikawa	410
	Yokota	405
	Jefferson Heights	70
	Lincoln Center	50
Quonset	Palace Heights	156

小泉和子ほか『占領軍住宅の記録（上）』住まいの図書館出版局（1999）38頁



Jefferson Heights

Outline

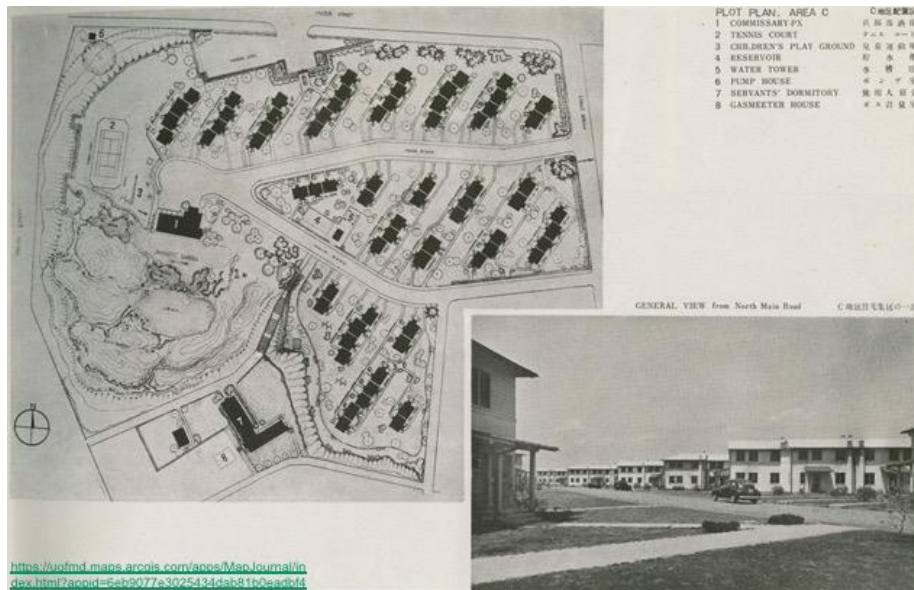
- 1.Introdction
 - 2.Basic information
 - 3.History
 - 4.Summary
-



永田町・20
10



永田町・1953



Basic information

Acreage: 43,936 m²

Facilities: 9

Number of household: 70



History —Return of Jefferson Heights



History—Return of Jefferson Heights

- Negotiation with U.S. military
- Settlement of residents
- Budget





Acreage: 43,936 m²

Nation-owned land: 43,755 m²

Private land: 181 m²

History

調達庁、米軍に申入れ
国会周辺の施設返還
調達庁は十二日の日米合同委施設
特別委員会で国会周辺のジェファ
ーソンハイツなど米軍の住宅施設
を早く返還してほしいと正式申入

Yomiuri News, 1957 March

**ジェファアーソン 在目米
ハイツ返還決る** 軍司令
部は東京都千代田区永田町二丁目
の米軍下士官住宅ジェファアーソ
ン・ハイツ（旧開院宮邸跡）を来
年三月末日までに返還すると十六
日調達庁に通報した。

Yomiuri News, 1958 December

Summary

Bibliography

- <http://11.pro.tok2.com/~mu3rail/link179.html>
 - <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%82%E8%AD%B0%E9%99%A2%E8%AD%B0%E9%95%B7%E5%85%AC%E9%82%B8>
 - Yomiuri (1957),
<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/viewerMtsStart.action?objectId=BA4yihLpIVxUjMd3xD05RkitR7ihFlfxkspyGxV8AXM%3D>
 - Yomiuri (1958),
<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/viewerMtsStart.action?objectId=Mrd1cylCxad8ePpF9L6upQOXHus6TEmpw6SylRXI%2Fg%3D>
 - Tatsumi, Y., & Burke, C. (n.d.). Life of U.S. Military Families in Tokyo. Retrieved November 19, 2020, from <https://uofmd.maps.arcgis.com/apps/MapJournal/index.html?appid=6eb9077e3025434dab81b0eadbf4ca29>
 - <https://kokkai.ndl.go.jp/#/detail?minId=102614024X02119570314¤t=8>
 - <https://kokkai.ndl.go.jp/#/detail?minId=102614024X01519570228¤t=9>
-

Lincoln Center

Outline

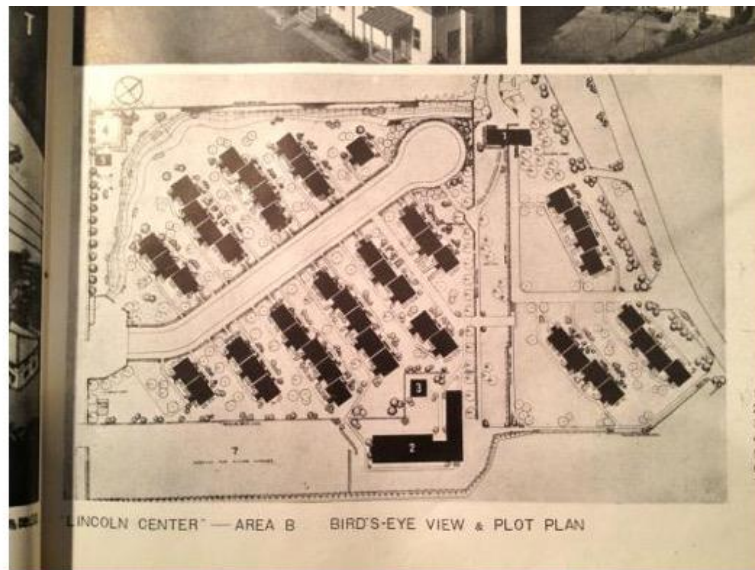
- Introduction
 - Housing
 - Family
 - Women
 - Conclusion
-



著者	商工省工芸指導所 編
出版社	技術資料刊行会
ページ数	266p 図版

<u>Authorized</u> <u>Dependent Housing</u> TOKYO AREA		
	REHABILITATED JAPANESE HOUSES	602
	REHABILITATED APARTMENTS	594
NEW CONSTRUCTION		
	LINCOLN CENTER	50
	JEFFERSON HEIGHTS	70
	WASHINGTON HEIGHTS	827
	GRANT HEIGHTS	1,261
TOTAL NEW CONSTRUCTION		2,207
PALACE HEIGHTS QUONSET AREA		156
TOTAL ALL TYPES		3,560

<https://www.arcgis.com/apps/MapJournal/index.html?appid=6eb9077e3025434dab81b0eadbf4ca29>



<https://yoshikawaoumei.wordpress.com/2013/01/09/小規模タイプのデヘンセントハウスエリア霞ヶ関/>

国会議事堂



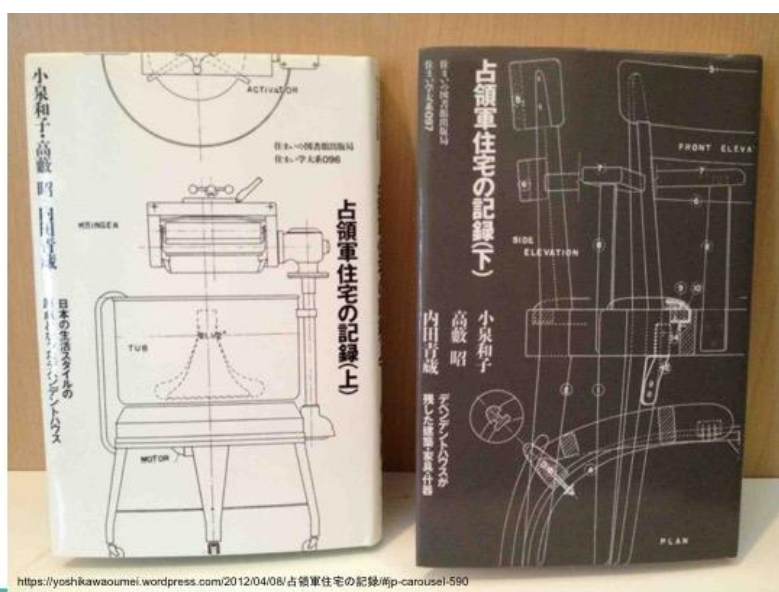
皇居



霞ヶ関、国土交通省の建物



外務省





上・図27 A-1型住宅
下・図28 A-3a型二階住宅の室内。右側部屋には小窓が設けられた。

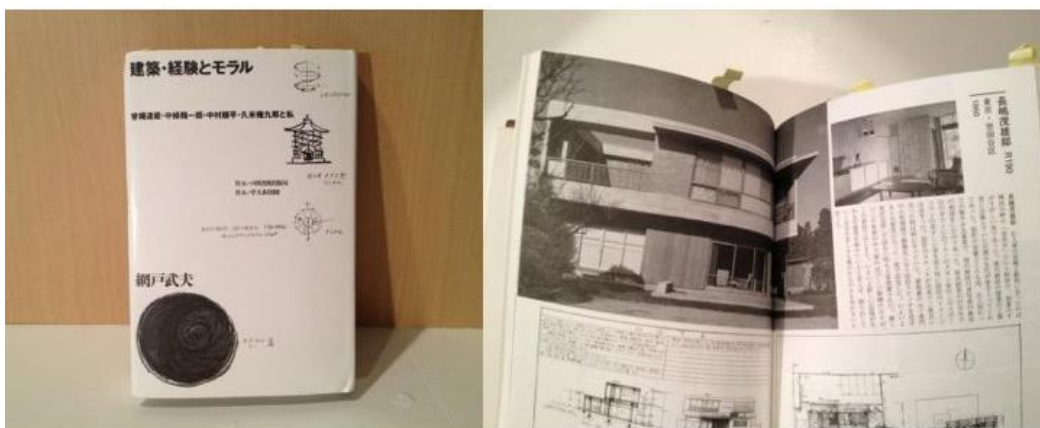
91 D社の設計方針と計画

ランチハウス



<https://yoshikawaoumei.wordpress.com/2012/10/26/デシデントハウスの誤訳？「ランチハウス」！/>

<https://yoshikawaoumei.wordpress.com/2012/04/08/占領軍住宅の記録/#p=carousel-592>



建築家 網戸武夫さん

<https://yoshikawaoumei.wordpress.com/2012/09/12/「建築・経験とモラル」/>

What changed?



研究 No.9312

住宅総合研究財団
研究年報No. 21 1994

戦後日本の住宅形式形成過程におけるアメリカ近代住宅の影響 —日本人に適した住宅原型提案への準備研究—

藤木 忠善

ある。①封建性打破ということからのリビング直入玄関^(i:23)，②民主的な家族と接客のための理想空間としてのリビングルーム^(i:24)，③活動的な生活という機能面からの椅子座の食卓^(i:25)，コタツの否定，全体暖房設備の設置，④子供の人格の尊重，及び，教育的配慮からの子供室の個室化^(i:26)，⑤家事労働の軽減のための機能的な台所配置と設備の改善^(i:27)，給湯設備の設置，⑥収納の合理化^(i:28)，⑦衛生面からの畳，和寝具の否定とベッドの採用^(i:29)，⑧洋式水洗便所^(i:30)，⑨快適化のための間接照明，壁付灯，フロアスタンドなど照明の適正配置^(i:31)。

<http://www.jinshin.jp/paper/1994/9312c0.pdf>

Today... What remained?

Remained	Did not remain
① 公私室分離型平面 ② セミオープン台所 ③ 個室化した子供部屋	① リビング直入玄関 ② 私的廊下 ③ 主寝室の専用浴室 ④ フレキシビリティの高い子供部屋

参照 http://www.jusoken.or.jp/pdf_paper/1994/9312-0.pdf

	食生活	住生活	娯楽文化	公共
1945年9月連合国軍総司令部接収命令 1945年10月米第八軍作戦命令第19号 (終戦連絡事務局 戦災復興院 特別調達庁)	冷蔵倉庫	宿舎 什器備品 暖房用施設		病院事務所 倉庫 自動車置場
1945年12月 家族住宅の建設 20000戸 (納期1947年3月) living_px toaster	食堂 PX(酒保)	芝生 立ち木 灌木 家具倉庫	幼稚園 小学校 礼拝堂 劇場 クラブハウス 野球場	上下水道 汚水廃水管 地下貯水場 高架水槽 集中蒸気暖房プラント 污水处理場 変電所 電話交換室 ボイラー室 診療所 給油所 自動車修理所 管理事務所 日本人使用人宿舎 営繕倉庫 消防署 駐在所道路
1946年3月 家具什器の生産 990000点	家具什器	家具什器		

screenshot from http://www.jusoken.or.jp/pdf_paper/1994/9312-0.pdf



A form of art



第一世代（４０年代）

前面に張り出した筒状の取手に至るまで、全て天然木で作られていたため、木のぬくもりや量感が印象的である。無垢のナラ材のもつ明るい色みも特徴。

第二世代（５０年代）

取手が金物へと変遷。この世代までは日本で作られるものが圧倒的に多かったが、後期になるとアメリカ性も出現。木材は南洋材（ラワン・アビトン）などの無垢材を使用。

第三世代（６０年代）

デコラトップ（化粧板）に無垢材と合板を使用したものが主流になる。取手のデザインは流用されるが、引き出しや扉の面のエッジを削って装飾性を高めるなど、次第にデニッシュデザインにも通じる装飾性が見られるようになる。合板の突き板はアメリカンチェリーやメープルが使用されていた。

第四世代（７０年～８０年代）

脚を除いてほとんど合板が使用されるようになる。突き板の芯材が板状の木材を並べたものからパーティクルボード（木の細かいチップを板状にしたもの）へ変わるなど、生産上の合理性をより追求するようになる。また、取手は張り出したものから中へくぼんだものになるなど、当時の趣味性も垣間みることができる。



▲写真は2019年6月22日（土）からパーツセンターで販売予定の第四世代の米軍住宅払い下げ家具

taken from <http://pfservice.co.jp/news/page/8/>

LINE UP



DH DINING TABLE
Item code: DH101
Price : 124,200円 (tax in)
[購入ページへ](#)

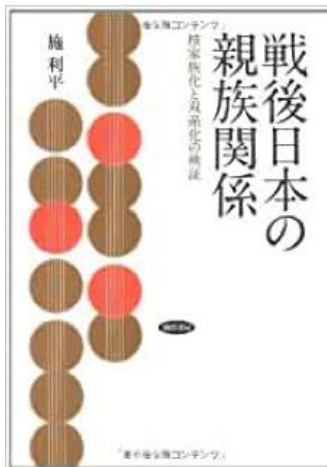


DH DINING CHAIR
Item code: DH201/202
Price : 4,640円~ (tax in)
張り地、タイプにより異なります。
[購入ページへ](#)



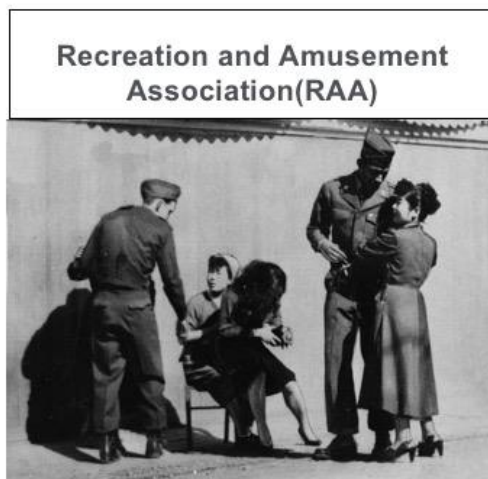
screenshot from <http://glservice.co.jp/news/0914/>

Nuclear family





GI ベビー



Conclusion/ Reflection

- The scars of defeat to America remains concrete in Tokyo, Japan
- Dependents Housing brought new lifestyle, technology, infrastructure and culture into post-war Japan
- The houses and furnitures are now being embraced and appreciated for their highly crafted pieces and scarcity value
- Lincoln Center was built in the earlier stages and thus began small, so its influence was smaller compared to Jefferson Heights
- There is not much books, articles, information on Lincoln Center or Dependents Housing in general

Reference

Story Map Journal. (n.d.). Retrieved November 26, 2020, from <https://www.arcgis.com/apps/MapJournal/index.html?appid=6eb9077e3025434dab81b0eadb64ca29>

<https://honmoku.search-japan.com/dependentshousing/>

<https://yoshikawaoumei.wordpress.com/2012/09/12/「読書・経験とモラル」/>

<http://pfservice.co.jp/news/9914/>

[illegible]

<http://www.shiro1000.jp/tau-history/dependents/dependents-.html>

PALACE HEIGHTS

25

TABLE OF CONTENTS

00

Introduction

01

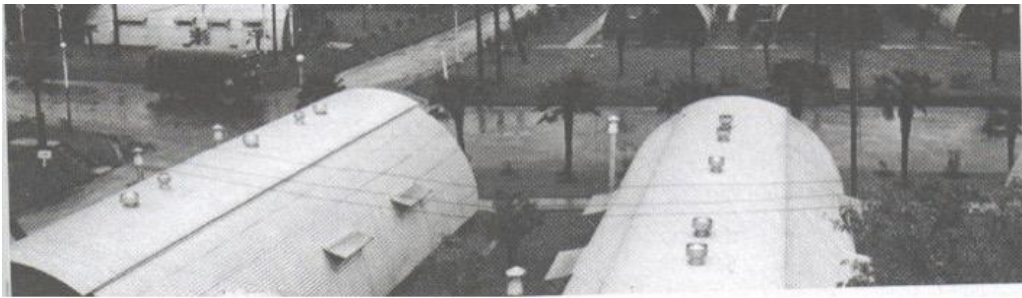
What is palace
Heights?

02

The effect on
Japanese Society

03

Conclusion



00 INTRODUCTION



01 WHAT IS PALACE HEIGHTS?

Brief overview of PALACE HEIGHTS



Brief overview of PALACE HEIGHTS





AFFECTS ON JAPANESE SOCIETY 02





BLONDIE

Brief overview of BLONDIE



Analysis by Japanese researchers

Blondie = Loss of humanity caused by Capitalism

- Normal household (or even poor?)
- Sorrow of wage workers
- Home, a place to heal the tiredness



Japanese people's interpretation

Blondie = Rich life with home appliances





03 CONCLUSION

- 岩本茂樹. (1997). ブロンディ (1): 戦後日本におけるアメリカニゼーション. 関西学院大学社会学部紀要, (78), 155-167.
- 岩本茂樹. (1998). ブロンディ (2): 戦後日本におけるアメリカニゼーション. 関西学院大学社会学部紀要, (79), 147-160.
- 岩本茂樹. (2005). 戦後日本の「アメリカニゼーション」と『ブロンディ』 (Doctoral dissertation, 関西学院大学).
- 岩本茂樹. (2008). アメリカ漫画『ブロンディ』へのまなざし—「夫の家事労働」をめぐって (特集 トランスナショナル時代のコミュニケーション). メディア・コミュニケーション, (58), 43-53.
- 黒田勇. (2004). 『ブロンディ』第 28 期第 19 回研究会 (メディア史研究部会企画) 戦後日本のアメリカニゼーション. マス・コミュニケーション研究, 64, 214-214.
- 坂本佳鶴恵. (2003). 岩本茂樹著『戦後アメリカニゼーションの原風景—『ブロンディ』と投影されたアメリカ像』. 社会学評論, 54(3), 291-292.
- 安田常雄. (2003). 大衆文化のなかのアメリカ像『ブロンディ』から TV 映画への覚書. アメリカ研究, 2003(37), 1-21.

6. 既存の研究枠組みの整理

Categories of Existing Occupation Studies

1. Overview
2. Administration of the Occupation
3. Logistic Support
4. Population
5. Trials of class "B" and class "C" War Criminals
6. Local Government Reform
7. The Purge
8. Constitution
9. National Administrative Reorganization
10. Election Reform
11. Development of Political Parties
12. Development of Legislative Responsibilities
13. Reorganization of Civil Service
14. Legal and Judicial Reform
15. Freedom of the Press
16. Theater and Motion Pictures
17. Treatment of Foreign Nationals
18. Public Welfare
19. Public Health
20. Social Security
21. Foreign Property Administration
22. Reparations
23. Japanese Property Administration
24. Elimination of Zaibatsu Control
25. Development of Economic Power
26. Promotion of Fair Trade Practices
27. The Rural Land Reform Program

28. Development of the Trade Union Movement
29. Working Conditions
30. Agriculture Cooperatives
31. Education
32. Religion
33. Radio Broadcasting
34. Price and Distribution Stabilization: Non-Food Program
35. Price and Distribution Stabilization: Food Program
36. Agriculture
37. National Government Finance
38. Local Government Finance
39. Money and Banking
40. Financial Reorganization of Corporate Enterprise
41. The Petroleum Industry
42. Fisheries
43. Forestry
44. Rehabilitation of the Non-Fuel Mining Industries
45. Coal
46. Expansion and Reorganization of the Electric Power and Gas Industries
47. The Heavy Industries
48. Textile Industries
49. The Light Industries
50. Foreign Trade
51. Land and Air Transportation
52. Water Transportation
53. Communication
54. Reorganization of Science and Technology in Japan
55. Police and Public Safety

7. 既存の研究(最新文献一覧)

Major Japanese work on post-WWII occupation, 1945–1952/1972 [= occupation of Okinawa] in chronological order, 2020–2003 at Sophia University Library collection (excluding comparative work on Japanese occupation in Asia prior to 1945) 161 items in 18 years

占領期日本における学校評価政策に関する研究 / 福嶋尚子著.― 風間書房; 2020
権力と音楽 : アメリカ占領軍政府とドイツ音楽の「復興」 / 芝崎祐典著.― 吉田書店; 2019

戦時・占領期における映像の生成と反復 : メディアの生み出す社会的記憶 / 原田健一著.― 知泉書館; 2019.― (新潟大学人文学部研究叢書 ; 15)

日本文学の「戦後」と変奏される「アメリカ」 : 占領から文化冷戦の時代へ / 金志映著.― ミネルヴァ書房; 2019

写真でわかる事典日本占領史 : 1945 年 8 月–1952 年 5 月 = History of occupied Japan : Aug.1945–May.1952 / 平塚枢緒著.― PHP エディターズ・グループ; 2019
アメリカ占領期の沖縄高等教育 : 文化冷戦時代の民主教育の光と影 / 溝口聡著.― 吉田書店; 2019

良い占領? : 第二次大戦後の日独で米兵は何をしたか / スーザン・L.カラザース著 ; 小滝陽訳.― 人文書院; 2019

敗戦・占領下の英語.― ゆまに書房; 2019.― (英語教育史重要文献集成 / 江利川春雄監修・解題 ; 第 15 巻)

もうひとつの占領 : セックスというコンタクト・ゾーンから / 茶園敏美著.― インパクト出版会; 2018

占領の記憶記憶の占領 : 戦後沖縄・日本とアメリカ / マイク・モラスキー著 ; 鈴木直子訳.― 新版.― 岩波書店; 2018.― (岩波現代文庫 ; 学術 ; G384)

神戸閨市からの復興 : 占領下にせめぎあう都市空間 / 村上しほり著.― 慶應義塾大学出版会; 2018

- 戦後ゼロ年東京ブラックホール / 貴志謙介著.-- NHK 出版; 2018 [米国以外の貴重映像資料]
- 敗戦と占領 / 坪井秀人編.-- 臨川書店; 2018.-- (戦後日本を読みかえる ; 1) [闇市・身体・検閲]
- ウォー・ギルト・プログラム : GHQ 情報教育政策の実像 / 賀茂道子著.-- 法政大学出版局; 2018
- 古都の占領 : 生活史からみる京都 1945-1952 / 西川祐子著.-- 平凡社; 2017
- 戦後法制改革と占領管理体制 / 出口雄一著.-- 慶應義塾大学出版会; 2017
- 日本国民をつくった教育 : 寺子屋から GHQ の占領教育政策まで / 沖田行司著.-- ミネルヴァ書房; 2017
- “幻”の日本語ローマ字化計画 : ロバート・K・ホールと占領下の国字改革 / 茅島篤編.-- くろしお出版; 2017
- 占領政策としての帝国議会改革と国会の成立 : 1945-1958 / 梶田秀著.-- 信山社; 2017.-- (学術選書 ; 13 . 国会法||コッカイ ホウ)
- 動員のメディアミックス : 「創作する大衆」の戦時下・戦後 / 大塚英志編.-- 思文閣出版; 2017
- 戦後自治制度の形成 : 天川晃最終講義 / 天川晃著.-- 左右社; 2017.-- (放送大学叢書 ; 040)
- マッカーサーと日本占領 / 半藤一利著.-- PHP 研究所; 2016
- 戦後日本の小学校理科学習指導要領及び教科書の成立に関する研究 / 柴一実著.-- すずさわ書店; 2016
- 「日本を解体する」戦争プロパガンダの現在 : WGIP (ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム) の源流を探る / 高橋史朗著.-- 宝島社; 2016
- 未完の占領改革 : アメリカ知識人と捨てられた日本民主化構想 / 油井大三郎著.-- 増補新装版.-- 東京大学出版会; 2016.-- (UP コレクション)
- 日本占領期の学校図書館 : アメリカ学校図書館導入の歴史 / 今井福司著.-- 勉誠出版; 2016
- 日本占領期性売買関係 GHQ 資料 / 林博史監修 ; 第 1 巻 - 第 9 巻.-- 蒼天社出版; 2016

- 移行する沖縄の教員世界：戦時体制から米軍占領下へ / 藤澤健一編.-- 不二出版;
2016
- 米国の沖縄占領と情報政策：軍事主義の矛盾とカモフラージュ / 吉本秀子著.-- 春
風社; 2015
- 占領空間のなかの文学：痕跡・寓意・差異 / 日高昭二著.-- 岩波書店; 2015.-- (岩
波現代全書 ; 052)
- GHQ/SCAP と戦後の政治再建：占領計画や政策における日本保守主義者たち / ユ
ハ・サウナワール著 ; 原谷友香, 黒川賢吉訳.-- 大学教育出版; 2015
- 敗戦と占領：1940 年代 / 栗原彬, 吉見俊哉編 ; 比屋根照夫 [ほか著].-- 岩波書店;
2015.-- (ひとびとの精神史 / 栗原彬 [ほか] 編集委員 ; 第 1 巻)
- 対米依存の起源：アメリカのソフト・パワー戦略 / 松田武著.-- 岩波書店; 2015.--
(岩波現代全書 ; 056)
- 日本人「慰安婦」：愛国心と人身売買と / 「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクショ
ン・センター編 ; 西野瑠美子, 小野沢あかね責任編集.-- 現代書館; 2015
- 日本教育占領 / 熊野留理子著.-- 麗澤大学出版会; 2015
- 米軍医が見た占領下京都の 600 日 / 二至村菁著.-- 藤原書店; 2015
- ジープと砂塵：米軍占領下沖縄の政治社会と東アジア冷戦 1945-1950 / 若林千代
著.-- 有志舎; 2015.-- (フロンティア現代史)
- 占領下の日本 / 近現代史編纂会編.-- 山川出版社; 2015.-- (写真で見る太平洋戦争
/ 近現代史編纂会編 ; 3)
- 風俗と流行 / 永井良和, 松田さおり編.-- 新曜社; 2015.-- (占領期生活世相誌資料 /
山本武利監修 ; 2)
- 占領期年表：1945-1952 年：沖縄・憲法・日米安保 / 明田川融監修.-- 創元社;
2015.-- (「戦後再発見」双書 ; 資料編)
- アメリカの日本占領 戦後日本の出発点とマッカーサー / 松岡祥治郎著.-- 創英社;
2014
- 焼跡からのデモクラシー：草の根の占領期体験 / 吉見義明著 ; 上, 下.-- 岩波書
店; 2014.-- (岩波現代全書 ; 025-026)

- 敗戦とハリウッド：screening enlightenment：占領下日本の文化再建 / 北村洋著.-- 名古屋大学出版会; 2014
- 敗戦と暮らし / 永井良和編.-- 新曜社; 2014.-- (占領期生活世相誌資料 / 山本武利 監修 ; 1)
- 占領下の議会と官僚 / 天川晃著.-- 現代史料出版; 2014
- 敗者の身ぶり：ポスト占領期の日本映画 / 中村秀之著.-- 岩波書店; 2014
- 交錯する戦争の記憶：占領空間の文学 / 黄益九著.-- 春風社; 2014
- 占領下の日本：国際環境と国内体制 / 天川晃著.-- 現代史料出版; 2014 [制度改革]
- パンパンとは誰なのか：キャッチという占領期の性暴力とGIとの親密性 / 茶園敏美 著.-- インパクト出版会; 2014
- 占領下の東京下町：『葛飾新聞』にみる「戦後」の出発 / 木村千恵子著.-- 日本経済評論社; 2014.-- (同時代史叢書)
- 日本占領史 1945-1952：東京・ワシントン・沖縄 / 福永文夫著.-- 中央公論新社; 2014.-- (中公新書 ; 2296) [政策転換＝逆コース]
- 日本占領とジェンダー：米軍・売買春と日本女性たち / 平井和子著.-- 有志舎; 2014.-- (フロンティア現代史)
- 占領から独立へ：1945～1952 / 楠綾子著.-- 吉川弘文館; 2013.-- (現代日本政治史 ; 1) [制度改革]
- 戦後日本の「独立」 / 半藤一利 [ほか] 著.-- 筑摩書房; 2013 [政治軍事、庶民史]
- 占領期・占領空間と戦争の記憶 / 長志珠絵著.-- 有志舎; 2013.-- (フロンティア現代史) [追悼の記憶]
- 占領者のまなざし：沖縄/日本/米国の戦後 / 田仲康博編.-- せりか書房; 2013 [メディア文化]
- こうしてテレビは始まった：占領・冷戦・再軍備のはざままで / 有馬哲夫著.-- ミネルヴァ書房; 2013
- 占領期の出版メディアと検閲（プレスコード）：戦後広島の文芸活動 / 広島市文化協会文芸部会編.-- 初版.-- 勉誠出版; 2013
- 占領下の神奈川県政 / 天川晃著.-- 現代史料出版; 2012

- スウィング・ジャパン：日系米軍兵ジミー・アラキと占領の記憶 / 秋尾沙戸子著.-- 新潮社; 2012
- 沖縄占領下を生き抜く：軍用地・通貨・毒ガス / 川平成雄著.-- 吉川弘文館; 2012.-- (歴史文化ライブラリー ; 354)
- 女中がいた昭和 / 小泉和子編.-- 河出書房新社; 2012.-- (らんぷの本)
- 「悪女」と「良女」の身体表象 / 笠間千浪編著.-- 青弓社; 2012.-- (神奈川大学人文学研究叢書 ; 29)
- 「鐘の鳴る丘」世代とアメリカ：廃墟・占領・戦後文学 / 勝又浩著.-- 白水社; 2012
- 占領する眼・占領する声：CIE/USIS 映画と VOA ラジオ = Occupying eyes, occupying voices : CIE/USIS films and VOA radio in Asia during the Cold War / 土屋由香, 吉見俊哉編.-- 東京大学出版会; 2012
- GHQ の占領政策と経済復興：再興する日本綿紡績業 / 大畑貴裕著.-- 京都大学学術出版会; 2012.-- (プリミエ・コレクション ; 25)
- 日本占領と宗教改革 / 岡崎匡史著.-- 学術出版会; 2012.-- (学術叢書)
- マッカーサーへの 100 通の手紙：占領下北海道民の思い / 伴野昭人著.-- 現代書館; 2012
- 戦後史の正体：1945-2012 / 孫崎享著.-- 創元社; 2012.-- (「戦後再発見」双書 ; 1) [外庄]
- メディアと知識人 ; 1, 2.-- 日本図書センター; 2012.-- (文化社会学基本文献集 / 吉見俊哉監修 ; 第 2 期 戦後編 ; 第 20 巻, 第 3 期 高度経済成長期編 ; 第 30 巻)
- そして官僚は生き残った：内務省, 陸軍省, 海軍省解体 / 保阪正康著.-- 毎日新聞社; 2011.-- (昭和史の大河を往く / 保阪正康著 ; 第 10 集)
- 「戦後革新勢力」の奔流：占領後期政治・社会運動史論 1948-1950 / 五十嵐仁編.-- 大月書店; 2011.-- (法政大学大原社会問題研究所叢書)
- 占領期のキーワード 100：1945-1952 / 谷川建司編著.-- 青弓社; 2011
- 昭和天皇とワシントンをつなげた男：「パケナム日記」が語る日本占領 / 青木富貴子著.-- 新潮社; 2011
- 沖縄空白の一年：1945-1946 / 川平成雄著.-- 吉川弘文館; 2011

「沖縄問題」とは何か：「琉球処分」から基地問題まで / 藤原書店編集部編；大城立裕 [ほか著].-- 藤原書店; 2011

映画の身体論 / 塚田幸光編著.-- ミネルヴァ書房; 2011.-- (映画学叢書 / 加藤幹郎監修)

検証イールズ事件：占領下の学問の自由と大学自治 / 大藤修著.-- 清文堂出版; 2010

占領期文学の多面性 / [山本武利編者代表].-- 岩波書店; 2010.-- (占領期雑誌資料大系 / 山本武利編者代表；文学編 5)

占領下沖縄・奄美国語教科書研究 / 吉田裕久著.-- 風間書房; 2010

家制度の廃止：占領期の憲法・民法・戸籍法改正過程 / 和田幹彦著.-- 信山社; 2010.-- (学術選書；35．民法Ⅱミンプウ)

靖国神社：占領下の知られざる攻防.-- NHK エンタープライズ; 2010.-- (NHK DVD；. NHK は何を伝えてきたかⅡNHK ワ ナニ オ ツタエテ キタカ . NHK スペシャルⅡNHK スペシャル). V

写真で読む昭和史占領下の日本 / 水島吉隆著；太平洋戦争研究会編.-- 日本経済新聞出版社; 2010.-- (日経プレミアシリーズ；102)

占領下の時代：写真記録 / 日本近代史研究会編.-- 日本ブックエース; 2010

表現される戦争と占領：1946・8-1947・7 / [山本武利編者代表].-- 岩波書店; 2010.-- (占領期雑誌資料大系 / 山本武利編者代表；文学編 2)

占領下女性と雑誌 / 近代女性文化史研究会著.-- ドメス出版; 2010

民軍協力(CIMIC)の戦略：米軍の日独占領からコソボの国際平和活動まで / 小柳順一著；戦略研究学会編集.-- 芙蓉書房出版; 2010.-- (ストラテジー選書；12)

GHQ 情報課長ドン・ブラウンとその時代：昭和の日本とアメリカ / 横浜国際関係史研究会, 横浜開港資料館編.-- 日本経済評論社; 2009

占領下日本の学校図書館改革：アメリカの学校図書館の受容 / 中村百合子著.-- 慶應義塾大学出版会; 2009

親米日本の構築：アメリカの対日情報・教育政策と日本占領 / 土屋由香著.-- 明石書店; 2009

- 国字ローマ字化の研究：占領下日本の国内的・国際的要因の解明 / 茅島篤著.―
改訂版.― 風間書房; 2009
- 占領から戦後へ / 山本武利編者代表.― 岩波書店; 2009.― (占領期雑誌資料大系 /
山本武利編者代表 ; 大衆文化編 5)
- 占領下日本の教訓 / 保阪正康著.― 朝日新聞出版; 2009.― (朝日新書 ; 189) [主権
喪失]
- ワシントンハイツ：GHQ が東京に刻んだ戦後 / 秋尾沙戸子著.― 新潮社; 2009
- 沖縄戦、米軍占領史を学びなおす：記憶をいかに継承するか / 屋嘉比収著.― 世織
書房; 2009
- 戦争と平和の境界：1945・8-1946・7 / [山本武利編者代表].― 岩波書店; 2009.― (占
領期雑誌資料大系 / 山本武利編者代表 ; 文学編 1)
- 躍動する肉体 / 山本武利編者代表.― 岩波書店; 2009.― (占領期雑誌資料大系 /
山本武利編者代表 ; 大衆文化編||タイシュウ ブンカ ヘン ; 4)
- 占領下の映画：解放と検閲 / 岩本憲児編.― 森話社; 2009.― (日本映画史叢書 ;
11)
- マッカーサー：フィリピン統治から日本占領へ / 増田弘著.― 中央公論新社; 2009.―
(中公新書 ; 1992)
- アメリカへの憧憬 / 山本武利編者代表.― 岩波書店; 2009.― (占領期雑誌資料大系
/ 山本武利編者代表 ; 大衆文化編 3)
- 新聞教育の原点：幕末・明治から占領期日本のジャーナリズムと教育 / 柳澤伸司
著.― 世界思想社; 2009
- 占領時代：日本ニュース昭和 21-23 年.― NHK エンタープライズ; 2008.― (NHK
DVD ; . NHK は何を伝えてきたか||NHK ワ ナニ オ ツタエテ キタカ . NHK 特集
||NHK トクシュウ . 激動の記録||ゲキドウ ノ キロク ; 第 3 部). V
- 米占領軍に消された戦前の日本 / 西尾幹二著.― 徳間書店; 2008.― (GHQ 焚書図書
開封 / 西尾幹二著 ; [1])
- 占領と改革 / 雨宮昭一著.― 岩波書店; 2008.― (岩波新書 ; 新赤版 1048 . シリー
ズ日本近現代史||シリーズ ニホン キンゲンダイシ ; 7)

- 昭和天皇・マッカーサー会見 / 豊下楢彦著.― 岩波書店; 2008.― (岩波現代文庫 ; 学術 ; 193)
- 占領期の朝日新聞と戦争責任 : 村山長挙と緒方竹虎 / 今西光男著.― 朝日新聞社; 2008.― (朝日選書 ; 840)
- GHQ 焚書図書開封 / 西尾幹二著 ; 2, 3.― 徳間書店; 2008
- 欲望・暴力のレジーム : 揺らぐ表象/格闘する理論 / 竹村和子編著.― 作品社; 2008.― (ジェンダー研究のフロンティア ; 5)
- 日本国憲法の二〇〇日 / 半藤一利著.― 文藝春秋; 2008.― (文春文庫 ; [は-8-17])
- デモクラシー旋風 / 山本武利編者代表.― 岩波書店; 2008.― (占領期雑誌資料大系 / 山本武利編者代表 ; 大衆文化編 2)
- わが国の占領期における看護改革に関する研究 : 地方への看護政策浸透過程 / 佐藤公美子著.― 風間書房; 2008
- 戦後新興紙と GHQ : 新聞用紙をめぐる攻防 / 井川充雄著.― 世界思想社; 2008
- 白洲次郎 : 占領を背負った男 / 北康利 [著] ; 上, 下.― 講談社; 2008.― (講談社文庫 ; [き-56-1], [き-56-2])
- 虚脱からの目覚め / 山本武利編者代表.― 岩波書店; 2008.― (占領期雑誌資料大系 / 山本武利編者代表 ; 大衆文化編 1)
- 戦後日本におけるアメリカのソフト・パワー : 半永久的依存の起源 / 松田武著.― 岩波書店; 2008
- 占領・復興期の日米関係 / 佐々木隆爾著.― 山川出版社; 2008.― (日本史リブレット ; 101)
- 占領下の女性労働改革 : 保護と平等をめぐって / 豊田真穂著.― 勁草書房; 2007.― (双書ジェンダー分析 ; 14)
- メリーランド大学図書館所蔵ゴードン W. プランゲ文庫教育図書目録 : 占領期検閲教育関係図書 1945-1949 / 野田朱実, 坂口英子編集 = Guide to the Gordon W. Prange education book collection : occupation-period censored education books 1945-1949 : the University of Maryland Libraries / edited by Akemi Noda and Eiko Sakaguchi.― 文生書院; 2007

- 女性解放をめぐる占領政策 / 上村千賀子著.― 勁草書房; 2007.― (双書ジェンダー分析 ; 16)
- 占領と文学 / 浦田義和著.― 法政大学出版局; 2007
- アメリカ占領期の民主化政策 : ラジオ放送による日本女性再教育プログラム / 岡原都著.― 明石書店; 2007
- 米国対日占領下における「教職追放」と教職適格審査 / 山本礼子著.― 学術出版会; 2007.― (学術叢書)
- 「戦後革新勢力」の源流 : 占領前期政治・社会運動史論 1945-1948 / 五十嵐仁編.― 大月書店; 2007.― (法政大学大原社会問題研究所叢書)
- 敗戦国ニッポンの記録 : 昭和 20 年～27 年 : 米国国立公文書館所蔵写真集 / 半藤一利編著 ; 上巻, 下巻.― アークハブ出版; 2007
- 地域と占領 : 首都とその周辺 / 栗田尚弥編著.― 日本経済評論社; 2007.― (首都圏史叢書 ; 6)
- 戦後占領期短篇小説コレクション / 紅野謙介, 川崎賢子, 寺田博責任編集 ; 1 - 7.― 藤原書店; 2007
- 占領と性 : 政策・実態・表象 / 恵泉女学園大学平和文化研究所編 ; 奥田暁子 [ほか] 著.― インパクト出版会; 2007
- 靖国 : 知られざる占領下の攻防 / 中村直文, NHK 取材班著.― 日本放送出版協会; 2007
- 日本占領と軍政活動 : 占領軍は北海道で何をしたか / 西川博史著.― 現代史料出版; 2007
- GHQ の没収を免れた本 : 図書目録 / 占領史研究会編著.― サワズ&出版; 2007
- 沖縄の占領と日本の復興 : 植民地主義はいかに継続したか / 中野敏男 [ほか] 編著.― 青弓社; 2006
- 戦後日本の理科教育改革に関する研究 : アメリカ科学教育情報の受容と展開 / 柴一実著.― すずさわ書店; 2006
- 占領期文化をひらく : 雑誌の諸相 / 山本武利編.― 早稲田大学出版部; 2006.― (早稲田大学現代政治経済研究所研究叢書 ; 26)

戦後思想と社会意識 / 中村政則 [ほか] 編 ;: 新装版.-- 岩波書店; 2005.-- (戦後
日本 : 占領と戦後改革 / 中村政則 [ほか] 編 ; 第 3 巻)

占領下の文壇作家と児童文学 / 根本正義著.-- 高文堂出版社; 2005

証言占領期の左翼メディア / 法政大学大原社会問題研究所編.-- 御茶の水書房;
2005.-- (法政大学大原社会問題研究所叢書)

世界史のなかの一九四五年 / 中村政則 [ほか] 編 ;: 新装版.-- 岩波書店; 2005.--
(戦後日本 : 占領と戦後改革 / 中村政則 [ほか] 編 ; 第 1 巻)

占領と改革 / 中村政則 [ほか] 編 ;: 新装版.-- 岩波書店; 2005.-- (戦後日本 : 占
領と戦後改革 / 中村政則 [ほか] 編 ; 第 2 巻)

戦後民主主義 / 中村政則 [ほか] 編 ;: 新装版.-- 岩波書店; 2005.-- (戦後日本 :
占領と戦後改革 / 中村政則 [ほか] 編 ; 第 4 巻)

過去の清算 ;: 新装版.-- 岩波書店; 2005.-- (戦後日本 : 占領と戦後改革 / 中村政
則 [ほか] 編 ; 第 5 巻)

戦後改革とその遺産 / 中村政則 [ほか] 編 ;: 新装版.-- 岩波書店; 2005.-- (戦後
日本 : 占領と戦後改革 / 中村政則 [ほか] 編 ; 第 6 巻)

國破れてマッカーサー / 西鋭夫著.-- 中央公論新社; 2005.-- (中公文庫 ; [に-16-1])

占領と平和 : 「戦後」という経験 / 道場親信著.-- 青土社; 2005

米国統治下沖縄の社会と法 / 中野育男著.-- 専修大学出版局; 2005

発達障害児教育実践論 : 占領期の教育職員再教育講習会等の「特殊教育講座」の検
討 / 市澤豊著.-- 学術出版会; 2005.-- (学術叢書)

戦後社会福祉基礎構造改革の原点 / 田中壽著.-- 筒井書房; 2005

GHQ に没収された本 / 澤龍編著.-- サワズ出版; 2005

敗戦と民主化 : GHQ 経済分析官の見た日本 / T.A.ピッソン著 ; 内山秀夫訳.-- 慶應
義塾大学出版会; 2005

被占領期社会福祉分析 / 菅沼隆著.-- ミネルヴァ書房; 2005.-- (Minerva 人文・社会
科学叢書 ; 110)

占領期再考 : 「占領」か「解放」か : 特集.-- 藤原書店; 2005.-- (環 : 歴史・環境・文
明 : 学芸総合誌・季刊 ; Vol.22 (2005 summer))

ドキュメント占領の秋 1945 / 玉木研二著.-- 藤原書店; 2005

- 占領とデモクラシーの同時代史 / 同時代史学会編 ; 福永文夫 [ほか執筆].-- 日本経済評論社; 2004
- 占領軍対敵諜報活動 : 第 441 対敵諜報支隊調書 : 1945 年 8 月-1950 年 6 月 / [合衆国陸軍諜報センター著]; 明田川融訳・解説.-- 現代史料出版; 2004
- 財閥解体 : GHQ エコノミストの回想 / エレノア・M・ハドレー, パトリシア・ヘーガン・クワヤマ著 ; ロバート・アラン・フェルドマン監訳 ; 田代やす子訳.-- 東洋経済新報社; 2004
- アメリカの対日占領政策とその影響 : 日本の政治・社会の転換 / マーク・カプリオ, 杉田米行編著.-- 明石書店; 2004.-- (明石ライブラリー ; 70)
- 社会科歴史教科書成立史 : 占領期を中心に / 梅野正信著.-- 日本図書センター; 2004.-- (学術叢書)
- 戦後改革と逆コース / 吉田裕編.-- 吉川弘文館; 2004.-- (日本の時代史 / 石上英一 [ほか] 企画編集委員 ; 26)
- アフター・ヴィクトリー : 戦後構築の論理と行動 / G・ジョン・アイケンベリー著 ; 鈴木康雄訳.-- NTT 出版; 2004.-- (叢書「世界認識の最前線」)
- 占領下の児童書検閲 : プランゲ文庫・児童読み物に探る / 谷暎子編著 ; 資料編.-- 新読書社; 2004
- 出版文化 / 大久保久雄, 福島鏗郎監修 ; 全 5 巻+別巻 - 別巻.-- [復刻版].-- 金沢文圃閣; 2003.-- (文圃文献類従 ; 6-3, 6-4, 6-5, 6-6, 6-7, 6-8 . 戦時占領期出版関係史料集||センジ センリョウキ シュツパン カンケイ シリョウシュウ ; 2)
- 米国対日占領政策と武道教育 : 大日本武徳会の興亡 / 山本礼子著.-- 日本図書センター; 2003.-- (学術叢書)